

みなさん、こんにちは。

今日は「啓蟄」。土の中にいた虫たちが冬の眠りから目覚め、はい出してくるという日になっています。記録的な暖冬を虫たちはどう感じているのでしょうか。

1. おっちゃんの「手作りおもちゃ」

3月4日(日)は午前中の「紙芝居」の後、午後から「手作りおもちゃ」作りがありました。学校見学の時、おっちゃんの紙芝居で大人気の阿部さんが、クイズの賞品で配っている紙トンボや体操人形などを子どもたちと一緒に作って楽しみました。

30人の定員に明石小3年生の脇本くんが一番乗り。「紙トンボが作りたくて」と意欲満々で小さな部品を手におもちゃ作りに取り組みました。長坂小から来た3年生の女の子も「楽しかったけれど、ブンブンゴマがなかなか回らない」と練習していました。定員を大きく上回る子どもたちがやってくる、阿部さんのおもちゃの人気はすごいものでした。



阿部さんも大忙し



こうやって作るんだよ。



できあがったブンブンゴマの練習

3月17日(土) 11:00 ~ 14:00 ~ おっちゃんの紙芝居とクイズ

今年度はこの日がラストとなります。(要：博物館観覧料)

2. ワークショップ「石臼できな粉を作ろう」

3月4日(日) 13:30からはワークショップ「石臼できな粉を作ろう」を体験学習室で開きました。神戸小学校3年生の小西くんは「石臼のゴロゴロが楽しい。いり豆のにおいがいいにおい」と一杯石臼を回しました。学習室の中にはきな粉のいいにおいが漂い、「今日はきな粉ごはんを食べよう」というお母さんも。手作りの良さを感じる時間となりました。



両手を使ってよいしょ、よいしょ



ボランティアさんと一緒に



ゴロリ、ゴロリ、楽しいね

3月の布ぞうり作り3月18日(日)申し込み(電話受付)は終了しました。

3. 「昭和なつかし博覧会」後期の部も10,000人を突破!

後期も連日、学校見学が続いています。後期の観覧者数もついに10,000人を突破しました。土日の子どもたちに加え、平日にも高齢者の方、大学生、ご夫婦など様々な世代の方々が観覧されています。



明石ゆかりの人物福笑いも好評です。(上は光源氏に挑戦中のお母さん)